

工学研究科 建築学専攻

人材養成等に関する目的
建築学専攻は、建築学に携わる研究者・技術者・設計者として求められる学識と技術を習得し、自ら問題を設定して解決する研究能力、学際的な見地から実務分野の課題を解決できる能力を持った人材を育成する。

カリキュラム・ポリシー
修士課程においては、学士課程で養った教養、基礎学力、専門知識を基礎として、さらに「専門科目」「一般教養科目」「修士研究」により、建築に関わる学識を深く究めると共に、広い視野から考える能力を修得し、それらを生かして高度な専門性を要する研究開発を行う能力を養う教育課程を編成する。 (1)「専門科目」では、建築学分野におけるより高度な専門的知識を身に付けるため、特論、実験、演習等の授業科目を重点的・効果的に配置する。 (2)「一般教養科目」では、幅広くかつ深い学識を涵養する授業科目、コミュニケーション能力・倫理観・国際性等を養う授業科目を配置する。 (3)「修士研究」では、国内外の文献の調査、指導教員等研究者との議論、国内外の学会等での発表、学術論文の発表等を行うことを通じて、自身の研究成果を正確かつ効果的に表現する力、研究に対する自立的な行動力、専門性を要する研究開発力、及び課題解決力を高め、建築学分野における研究者・技術者・設計者等として国際的な視野を持って活躍できる能力を育成する。
ディプロマ・ポリシー
修士課程においては、建築学分野における高い専門性と倫理観、国際的視野を持った研究者・技術者・設計者等の養成を目標とし、所定の期間在学し、以下の知識・能力を身に付け、建築学専攻の所定の単位を修得し、かつ、修士の学位論文又は特定研究の成果の審査並びに最終試験に合格した学生に対して修士を認定し、修士（工学）の学位を授与する。 (1) 建築学分野における高度な専門知識と研究能力 (2) 建築学分野における社会的な課題に対し、学術・技術・芸術の見地から自ら課題を発見・設定し、解決する能力 (3) 建築学及び関連する分野の専門知識を活用して、実務分野の課題を解決できる能力 (4) 建築学分野における高度な専門知識・研究能力と教養をもとに、国際的な視野を持って活躍できる能力

選択必修科目		選択科目		※3 2年次に履修可能	※4 修士2年間で自由に履修可能なカリキュラム
分野	科目群で身に付ける能力	修士課程1年次		修士課程2年次	
		前期	後期	前期	後期
建築計画学	建築意匠、設計計画、建築史、空間論、構法計画に関わる高度な専門性の修得、およびその専門性を活かし、自ら社会的な課題の設定や解決に取り組むことができる能力	建築設計 A(演習)	建築設計B(演習)	修士2年間で包括的に履修可能なカリキュラム。 ※1、※2は隔年開講科目群であり、年度により1年次または2年次のいずれかで履修可能	
		都市計画特論			
建築環境学	設備設計者、建築環境関連技術者、研究者などの専門家として実社会で活躍するための包括的な専門知識・技術	建築学特別講義 A		※1	
		建築設計特論	建築意匠特論 建築デザイン特論		
建築構造学	構造設計者、技術者、研究者などの専門家として実社会で活躍するための包括的な専門知識・技術	※2		建築史特論 建築構法計画特論 建築計画特論	
建築数理学	建築学の各分野において専門家として実社会で活躍するための数理的な専門知識・技術	建築意匠インターンシップ研修1a	建築意匠インターンシップ研修1b	建築意匠インターンシップ研修2a	建築意匠インターンシップ研修2b
		※3			
全分野共通	グローバル化する社会において国を越えて社会に貢献するため、関連する分野の専門知識を活用して、技術的な課題を解決する能力	建築学特別講義C	建築環境特論C	建築環境特論D	建築環境特論E
		建築環境特論C	建築環境特論D	建築環境特論E	建築環境特論B
一般教養科目	学際的で幅広い分野の学習や異分野交流等を通じて、コミュニケーション能力・倫理観・国際性等、幅広くかつ深い学識を身に付ける。	空調設備特論	建築設備計算演習	建築設備基準概論	
		建築設備インターンシップ研修1a	建築設備インターンシップ研修1b	建築設備インターンシップ研修2a	建築設備インターンシップ研修2b
		建築振動特論	建築学特別講義B	建築構造技術特論	建築構造設計及び演習
		建築構造力学特論		建築耐火設計特論	
		建築材料特論B		建築構造インターンシップ研修1a	建築構造インターンシップ研修1b
		建築構造インターンシップ研修1a	建築構造インターンシップ研修1b	建築構造インターンシップ研修2a	建築構造インターンシップ研修2b
		建築数理学特論	※1	非線形解析特論	※2
		修士研究1	修士研究2	修士研究3	修士研究4

授業（共通）	
生物科学特論	イノベーション・チーム・ラボ
現代物理学特論	キャリアデザイン考究
物理学から見る理学の世界1	実践的リーダーシップを学ぶ
物理学から見る理学の世界2	Basic Discussion and Presentation 1
物理学から見る理学の最前線1	Basic Discussion and Presentation 2
物理学から見る理学の最前線2	Discussion and Presentation 1
物理学から見る理学の未来1	Discussion and Presentation 2
物理学から見る理学の未来2	技術英語表現法概論
倫理学対話	技術英語表現法演習
現代東アジア特論	学術英語演習
応用言語学特論	科学技術研究の倫理
英語圏文学・文化演習	科学技術社会特論
表現文化特論	医療倫理
総合芸術学演習	計算機設計特論
国際政治特論	プロセッサアーキテクチャ特論
社会病理特論	ウォーターサイエンス特論
ダイバーシティ社会論演習	Materials Science and Technology Overview A:Metals
知財戦略特論	Materials Science and Technology Overview B:Inorganic
知的財産特論	Materials Science and Technology Overview C:Polymer Materials
	Materials Science and Technology Overview D:Composite Materials